

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公開番号】特開 2006-232182 (P2006-232182A)
 【公開日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-035
 【出願番号】特願 2005-52136 (P2005-52136)
 【国際特許分類】

B 6 0 R 1/072 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 1/072

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 13 日 (2007.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

図 8 は、パルス受付許可時間にノイズパルス P_N が検出された場合の、設定例 1 と設定例 2 による動作の違いを示す。この例では、図 8 (a) に示すように、正規のパルス P_n 、 P_{n+1} のパルス区間 n において、パルス P_{n+1} の直前でノイズパルス P_N が発生している。このノイズパルス P_N は、図 8 (b) の設定例 1 による場合も、図 8 (d) の設定例 2 による場合も、パルス受付許可時間内で発生されたため、図 8 (c)、図 8 (e) にそれぞれ示すように、カウンタ 41 のカウント値はこのノイズパルス P_N で 1 カウントアップされている。また、図 8 (b)、(d) にそれぞれ示すように、このノイズパルス P_N のタイミングで、次のパルス受付禁止時間が開始され、正規のパルス P_{n+1} は除去されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

これに対し、設定例 1 による場合は、パルス受付許可時間の開始タイミングは常にパルスの発生時点であるので、設定例 2 による場合のようなパルス受付禁止時間終了タイミングの延長分の蓄積が生じない。その結果、正規のパルス P_{n+8} が発生される前にパルス区間 $n+7$ のパルス受付禁止時間が終了し、図 9 (e) に示すように、正規のパルス P_{n+8} が除去されることなく正しくカウントされている。したがって、定常速度での動作モード時に、何らかの原因でモータ速度が上昇した場合には、設定例 2 に比べて設定例 1 を使用した場合の方が、モータ速度が上昇した場合にカウント誤差が生じる確率を低減できる。

【手続補正 3】

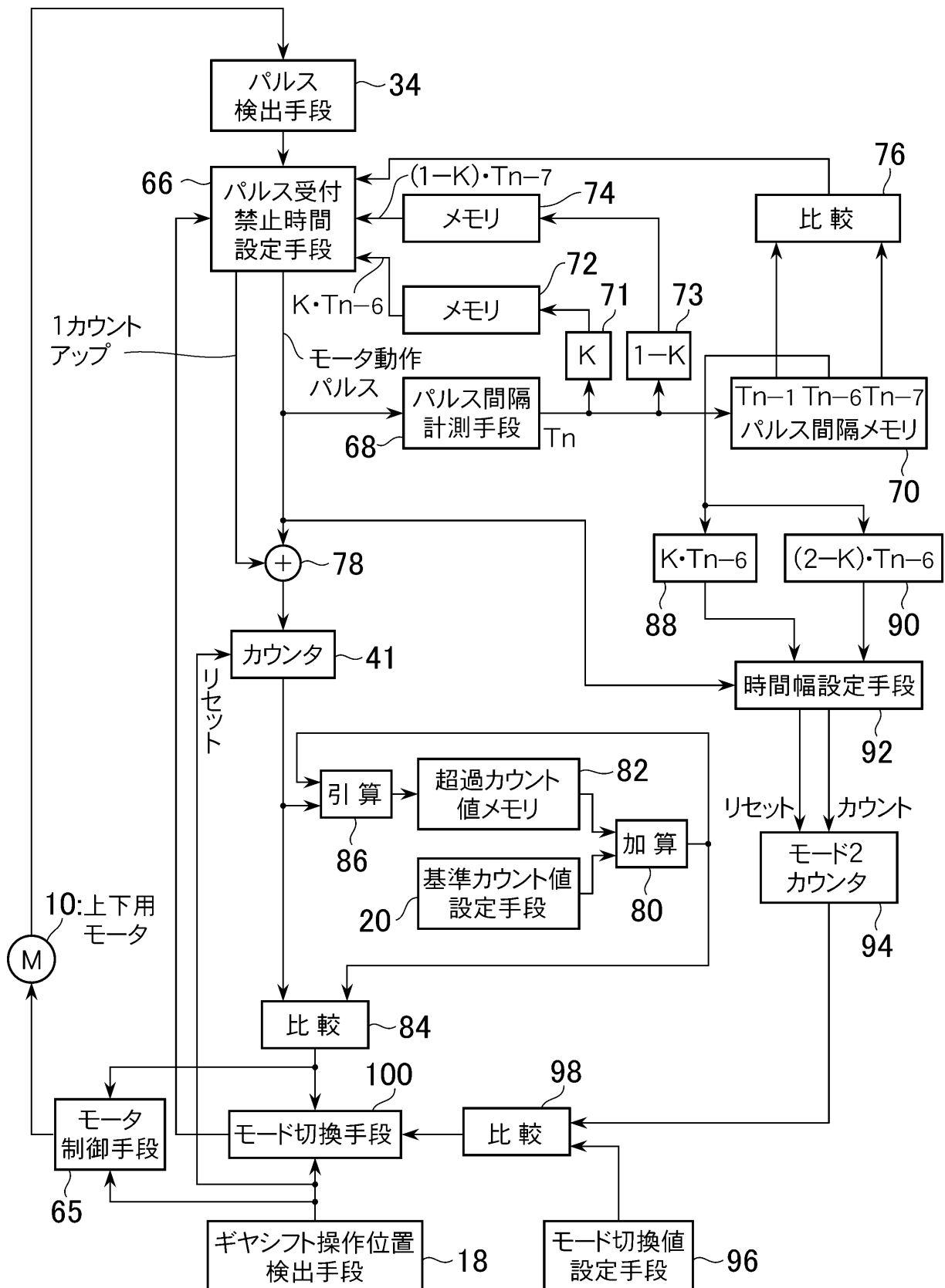
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】



【手続補正 4】

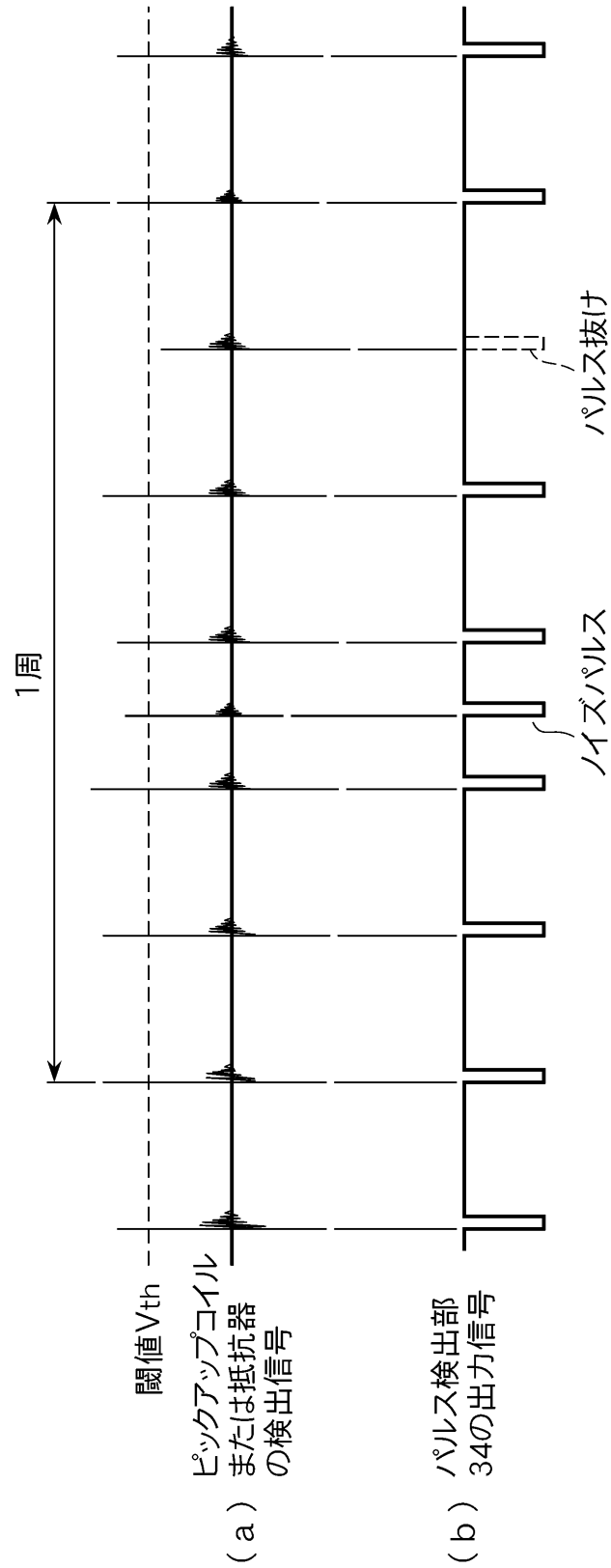
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 4 】



【 手続補正 5 】

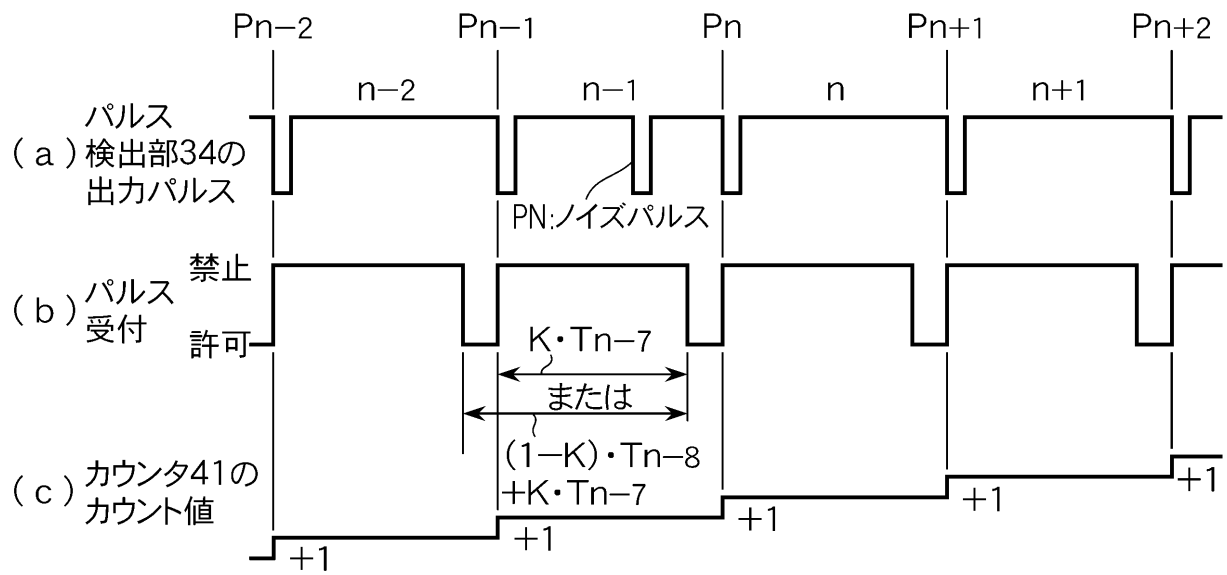
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 6 】



【 手続補正 6 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 8

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【図 8】

